

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局道路部地域道路課
担当課長名：吉田 雅文

事業名 ：主要地方道 <small>の だうし く</small> 野田牛久線	事業区分 ：地方道	事業主体 ：茨城県	
起終点 ：自：茨城県守谷市大柏 至：茨城県筑波郡谷和原村東櫛戸		延長 ：8.0km	
事業概要 ： 主要地方道野田牛久線は、つくばエクスプレス沿線地区を結び、これら市街地の骨格軸を形成するとともに、新たなまちづくりを支援するため計画された埼玉県三郷市から茨城県つくば市に至る延長約3.2kmの都市軸道路の一部であり、つくばエクスプレスに沿って千葉県境から伊奈・谷和原丘陵部一体型特定土地区画整理事業地区に至る9.9km（うち都市局分1.9km）の4車線道路である。			
H 7年度事業化	H 5年度都市計画決定 （H 年度変更）	H 8年度用地着手	H 9年度工事着手
全体事業費 ：約430億円	事業進捗率 ：50%	供用済延長 ：0km	
計画交通量 ：24,100台/日			
費用対効果分析結果	B / C ： (事業全体) 3.3 (残事業) 8.4	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 168/434億円 〔事業費：162/430億円 維持管理費：4/4億円〕	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 1,411/1,411億円 〔走行時間短縮便益：1,409/1,409億円 走行費用減少便益：2/2億円 交通事故減少便益：/ 億円〕
事業の効果等 ： ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する） ・個性ある地域の形成（地域連携プロジェクトを支援する：つくばエクスプレス） 他4項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 ： 野田牛久線（都市軸道）は、守谷市内等の交通渋滞の緩和やつくばエクスプレス沿線開発における地域間の交通の利便性に重要な役割を果たすことが期待されており、関係2市1町1村の首長で構成される茨城県エクスプレス市町村協議会より、早期の整備要望（H16年2月20日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ： 平成17年8月のつくばエクスプレスの開業や、沿線開発地区のまちびらきも予定されており開発地区間を結ぶ道路の役割は高まっている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 ： 用地取得の遅れにともない工事の進捗が遅れていたが、つくばエクスプレスの開業に合わせて、市道常総ふれあい道路から守谷市赤法花地内の県道野田牛久線現道までの区間約2.4km（うち、都市局分1.9km）の暫定2車線供用を予定している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ： 事業規模が大きいことから長期間を要しているが、優先区間（市道常総ふれあい道路～県道水海道取手線）を設定し、近接する鉄道事業者と施工方法や行程等について調整を図りながら早期完成を目指して事業の進捗を図る。			
施設の構造や工法の変更等 ： 再生材の活用により約7千万円、建設発生土の有効利用により、約5億円のコスト縮減を図っている。			
対応方針 ：事業継続			
対応方針決定の理由 ： 以上の状況等を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 ： 次項のとおり			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

事業概要図

